



沼津西ロータリークラブ週報



夢をかたちに

2008～2009年度
第 18巻 40号
2009年5月07日

● クラブテーマ ● 目指そう、増強と四つのテスト

■■ 本日のプログラム ■■
地区協議会報告 次年度会長・幹事・新会員

例会場：ブケ東海 (12:30点鐘) 例会日：毎週木曜日 第三木曜日：18:30
事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 851 例会 会長挨拶◆◆

鈴木泰次 会長

5月5日毎日新聞朝刊に『こどもの日に』についての社説が載っていました。副題として「真の宝とするためには」とあり、私も民生委員・児童委員として関心がありましたので読んでみました。

今の子供たちがおかれている状況が少しはわかると思いますので紹介致します。

30年前の1979年5月5日、毎日新聞は1面に「じりじり減る子供人口」の見出しで少子化時代が近いことを報じました。当時15歳未満の人口は2,763万人、全人口の23.9%を占めていました。それが年々の出生数の減少で十数年後には20%にまで落ち込むだろうと記事は危機感をにじませていました。

15歳未満人口は現在28年連続して減り、1,714万人。全人口に占める割合も20%を大きく割り、13.4%と35年連続して低下しています。しかし、注目すべきはそうした数値だけではありません。当時は想像できなかった変化や新現象が今、子供たちの環境に起きています。

一つは携帯電話で形成する世界。学力と「ゆとり教育」をめぐる学校教育の混乱。そして何より痛ましいのは、児童虐待の急増です。携帯電話は急速に子どもたちの世界にも広がり、文部科学省もやっと利用調査をしましたが、実態はまだつかみきれません。例えば、トラブルや事件の原因にもなる自己紹介サイト（プロフ）について、自分の子が利用していることを知らないばかりか、プロフの存在を知らない親も珍しくないようです。

閉ざされた密室で大人が起こす児童虐待は年間4万件を超えています。子供が様子の変化などでシグナルを出しているのに、周囲が見落とししたり、行動に出ないために最悪の事態に至るケースも後を絶ちません。

一方、子供を産み育てる社会条件も寒々としています。04年から少子化社会対策大綱を掲げる政府の最新少子化社会白書は「目標と現実の乖離」を並べ、改善を強く求めています。

例えば、男性育休取得率は目標の10%に対し07年度実績1.56%という有様です。そこへ空前の不況、雇用不安というマイナス要因がのしかかっています。

子は宝といいます。親だけでなく社会の宝です。しかし、その現実や守り育てる仕組みは言葉からはほど遠いものを感じます。児童虐待は端的にそれを物語りますが、携帯電話や学力の問題も共通した課題があります。おせっかいと言われようと、大人たち、地域社会が子育てに連帯する責任意識を持ち、必要な注意や対処をためらわないことです。携帯電話によるいじめなどの察知、トラブル防止や目先の点数アップにとらわれない真の学力や支援など、協力すべき余地は多くあります。子は宝。

もう一つ肝に銘じたいのは、子供たちは大人たちを映す鏡です。子供たちの環境を改善することは、すなわち暮らしやすい社会を整えることにほかなりません。こどもの日は「おとなが問われる日」であると私は思います。

会 長	鈴木泰次	幹 事	久松 但
会報委員長	名古屋良輔	編 集 者	芹澤和子

5月のプログラム

852回	12:30	ブケ東海	会員卓話
5月14日(木)		クラブ管理委員会	理事会
853回	18:30	ブケ東海イニシエーション	
5月21日(木)		スピーチ 成田みちよ君	夜間例会
854回	12:30	ブケ東海	外部卓話
5月28日(木)		オリジン・コーポレーション代表	杉井保之様

出席委員会報告

●ビジター

- 1、岩崎逸三様：沼津北RC
- 2、小木曾誠様：沼津北RC

★出席報告（会員総数26名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
851回	26名	22名	-	84.62%
849回	25名	20名	1名	80.00%

●欠席者(4名)

後藤 昭、西山幸三郎、尾島康夫、佐野 稔

●他クラブへの出席者

久松 但、芹澤貞治、鈴木泰次(4/26 米山梅吉記念館)

●スマイル報告

1. 栗原侑男：誕生日のお祝いありがとうございます。
2. 渡辺亀一：誕生日のお祝いありがとうございます。
3. 杉山真一：成田みちよさんを、宜しく申し上げます。
4. 久松 但：成田様、入会おめでとうございます。これから、宜しくお願いします。
5. 本村文一：所用につき、早退させていただきます。
6. 西島邦彦：所用につき、早退させていただきます。
7. 鈴木良則：所用につき、早退させていただきます。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①御殿場ロータリークラブ

5月14日(木) 早朝例会 探鳥会
於：富士カントリー

2. 連絡事項

①ガバナーエレクト事務所より

山梨第4分区IMの開催日、開催場所の変更
2010年3月22日(月) ハイランドリゾートホテル
&スパ→3月21日(日)(財)人材開発センター
富士研修所

新入会員紹介

新入会員氏名：成田みちよ
職業分類：葬祭業
事業所名：天華葬祭(てんげそうさい)
事業所での地位：代表
事業所所在地：〒410-0012 沼津市岡一色96-5
事業所電話：055-929-0343
事業所FAX：055-929-0344
自宅住所：〒410-0012 沼津市岡一色101-32
自宅電話：055-922-4845
推薦者：杉山真一君



地区協議会報告



会長エレクト 井上武雄君

地区協議会登録者(10名+事務局1名)の分科会参加、誠にありがとうございました。有意義な内容、そしてロータリー活動に御理解を頂き心より感謝申し上げます。

2009~2010年度国際ロータリー会長 ジョン・ケニー氏によるRIテーマ「ロータリーの未来はあなたの手の手に」に基づき、地区協議会が取り行われました。

第2620地区ガバナーエレクト飯田祥雄さんの挨拶「明るく、元気のいいロータリーを心掛けましょう。」の言葉通り、元気で明るい地区協議会が始まりました。その中で、いくつか皆様方に御連絡させて頂きます。

2009~2010年度 会員負担金

1. RI人頭分負担金： US\$49 / 人・年
規定審議会年次賦課金： US\$1 / 人・上半期
2. 地区資金負担金： ¥21,000 / 人・年
(前年度までの地区活性化援助金を含む)

2009～2010年度 地区目標

1. 会員増強：各クラブ純増1名以上
2. ロータリー財団寄付：US\$100 / 人・年
3. ベネファクター：各クラブ1名以上
4. 米山記念奨学会事業寄付：¥12,000 / 人・年
5. ポリオ撲滅資金への寄付：US\$23 / 人・年
(DDF資金の剰余金を活用する)
6. GSE(研究グループ交換)
 - ・相手地区：第3490地区 (台湾)
 - ・派遣：2010/4/10～2010/5/9
 - ・受入：2009/10/24～2009/11/22

予算案の説明につきましては、前年度地区活性化援助金を、一般会計化して各委員会への予算とする事です。これには会員減少に依る収入不足の対策として決定されました。

また、ポリオ撲滅に対する活動の資金不足の調整として「DDF資金の剰余金を活用する」事も決められました。

次年度については、明るく元気の良いロータリー活動となる用に、頑張っていきたいと思っておりますので、これからも、宜しく願い申し上げます。

☆-----☆



次期幹事 杉山寿章君

2009～2010年度地区協議会が4月19日アイメッセ山梨で開催され、各委員長(7名)、新会員(3名)、事務局(1名)の多数の皆様をいただきご苦労さまでした。

10:30より牧田ガバナーの点鐘で始まり、ホストクラブ甲府シティロータリークラブの歓迎の言葉。

牧田ガバナーの挨拶から次期ガバナー補佐の紹介があり、飯田ガバナーエレクトの次年度のテーマ「明るく元気の良いロータリーを心掛けましょう」である。

☆☆ 次年度の方針

RIのテーマは「ロータリーの未来はあなたの手の中に」自由意志に基づいて責任を持って活発

に行動して欲しい！そして職業奉仕への取組みを強調されました。又昨年度のポリオに対する補助金の増額をしたいということで、各クラブ1,000ドル×3年の目標を2,000ドル×3年に増額したい！と説明がありました。

本会議場から各分科会会場へ移動、分科会会場にて昼食。PETS、地区協議会の楽しみは昼食。各地域の名物のお弁当を支給される事です。

昼食後、牧田ガバナーよりロータリーの歴史、続いて飯田ガバナーエレクトより職業奉仕をロータリーの基本としてやっていきたい。又、会場の皆様から預ったお金をいかに有効に使っていくか、その為に予算案を組みましたのでよろしくというお願い。さらに世界からポリオを根絶しようとする闘いであると飯田ガバナーエレクトは訴えていました。

PETSと違って数百人のロータリアンが出席され、又、女性のロータリアンの多いのにびっくりしました。やはりこれも自然の流れではないでしょうか。

各委員から報告後、点鐘閉会(PM4時頃)となりました。

これからも1つ1つ勉強していくので、よろしく申し上げます。

☆-----☆



新会員代表 重光 純君

地区協議会に、新会員部会に参加するため出席しました。

午前中の本会議の後に、新会員部会の会場に移動し、新会員研修小委員会委員長の田中司郎氏から新会員のオリエンテーションについて、パストガバナーの高野孫左エ門氏からロータリーの魅力についてそれぞれお話を伺いました。

その中でも、個人的には、日本のRCの会員減少が顕著であるが、知識や親睦を深める機会を逸することのないように例会に出席することが肝要であるとの高野氏の指摘が印象に残りました。



沼津西ロータリークラブ週報



2008～2009年度
第 18巻 41号
2009年5月14日

夢をかたちに

● クラブテーマ ● 目指そう、増強と四つのテスト

■■ 本日のプログラム ■■
会員卓話 西山幸三郎君

例会場：ブケ東海 (18:30点鐘) 例会日：毎週木曜日 第三木曜日：18:30
事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 852 例会 会長挨拶◆◆

鈴木泰次 会長

リータ・L・モンタルチーニ著『老後も進化する脳』という本が出版されております。著者は1909年イタリアに生まれた女性脳神経科学者で、今年100歳になります。1986年に「神経成長因子および上皮細胞成長因子の発見」でノーベル生理学・医学賞を受賞しています。

20世紀初め「神経経路は不変、有限、固定されていて、すべてはいずれ死に至り、再生不能」という考え方が出され、20年位前まではそれが定説でした。

しかし、神経細胞に損傷が生じた場合それは死に、付近の細胞から神経線維が伸びて神経回路が回復することがわかってきました。このとき活躍するのが神経成長因子です。この再生過程は、誕生直後と若年初期に顕著だが、成人後も維持され、老年期にも見られます。

著者自身、この因子の活動を証明するかのような活躍ぶりです。本書のような執筆活動はもちろん、イタリア上院終身議員でもあります。ヒトという生物で老化が問題になるのは、寿命が長く、器官の衰えが肉体各所で表面化しやすく、社会が高齢者を障害するからだと言った上で著者は言います。「古代ローマの哲学者キケロが、偉大な事業を成し遂げさせるのは体力や肉体的敏捷さではなく、英知、先見の明、判断力だと言っているのは至言であり、精神活動は、老年期、そして人生の最後の時期において、まったく新しい能力の発揮される分野である」と言っています。

その能力の中で重要なのが創造性であり、特に老年にそれを発揮した実例として、ミケランジェロ、ガリレイ、ピカソなどをあげています。ミケランジェロは89歳という長寿で、システィーナ礼拝堂の

「最後の審判」は66歳の時完成、絵全体から想像力がほとぼしっていると著者は評価しています。老いを嘆く手紙を書きながらも、実際には晩年になってそれまで手がけたことのない建築に挑み創造性を発揮しているのです。

ガリレイも望遠鏡を改良して天体観測を始めたのは50代『天文対話』著したのは66歳の時です。視力を失い78歳で他界しましたが、その頃書いた友人への手紙に「感覚だけではなく知性によって学びうる世界について言うなら、今のところ、私の頭は、有限だとも無限だとも結論を出しかねています」とあり、いろいろなことを考え続けていたと思われま

人生での勝利の切り札は、知的、心理的活動の巧みな運用であり、それは一生とくに老年期にものというというのが著者の実感であり主張です。

脳の可塑性は、「自らの限界、自らの有限性を認識しつつ、無限について考える力」を与えてくれます。「いくら使い続けても消耗しない」この力を生かして生きたいものです。

5月のプログラム

853回	18:30	ブケ東海	夜間例会
5月21日(木)			イニシエーションスピーチ 成田みちよ君
854回	12:30	ブケ東海	外部卓話
5月28日(木)			オリジン・コーポレーション代表 杉井保之様

6月のプログラム

855回	12:30	ブケ東海	
6月04日(木)			クラブ協議会 次年度活動計画
856回	12:30	ブケ東海	新旧理事会
6月11日(木)			勝亦ガバナー補佐期末訪問

会 長	鈴木泰次	幹 事	久松 但
会報委員長	名古屋良輔	編 集 者	芹澤和子

出席委員会報告

●ビジター

1. 望月 茂様：御殿場RC
2. 内田文喬様：沼津北RC

★出席報告（会員総数26名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
852回	26名	22名	-	84.62%
850回	25名	20名	1名	84.00%

●欠席者(4名)

後藤 昭、本村文一、西島邦彦、尾島康夫

●スマイル報告

1. 内田文喬様（沼津北RC）：いつも、お世話になります。
2. 佐野 稔：結婚記念日のお祝いありがとうございます。先月は、休みが多くご迷惑お掛け致しました。
3. 西山幸三郎：妻の誕生日のお祝いありがとうございます。
4. 久松 但：鈴木会長、井上副会長、加藤学園訪問、ごくろうさまです。
5. 鈴木良則：次回の例会は、都合により、欠席させていただきます。

外部卓話



地球環境を持続するために 西山幸三郎 君

我々は何故地球環境を持続する必要があるのか？ 地球環境を持続させるということはどのように行動することか？ 国連のG.H.Brundtland

委員会報告は次のように提言している。

- (1) 未来の世代が自分たちの欲求を満たすための能力を減少させないように現代の世代の欲求を満たす。
- (2) 地球上の生命を支えているシステム（大気、水、土、生物）を危険にさらさない。
- (3) 大気、水、その他自然への好ましくない影響を最小限に抑制し、生態系の全体的な保全を図る。
- (4) 天然資源の開発、投資の方向、技術開発の方向付け、制度の改革が1つに纏まり、現在および将来の人間の欲求と願望を満たす能力を高めるようにする。

今まさに、この提言は我々人類に求められていることであろう。

環境問題という点から具体例を考えてみると、人間の生活やそのための工業の高度化に付随する破壊として、1) エネルギー消費量の拡大などによる破壊（二酸化炭素や窒素酸化物の排出）。2) 日常生活から排出される廃棄物などによる破壊が挙げられるだろう。

このことは、石油の埋蔵量や脱炭素社会とも大きな関連を有している。また、世界の政治や宗教、民族の対立構造に起因する戦争などによる環境破壊も無視できない。1) 武器などによる直接破壊。2) 残留物（地雷や劣化ウラン、クラスター爆弾など）による破壊。

人間が人間たる所以は「考える葦」であることである。解決策を見つけたら国境を越えて協力すべきであろう。人類の存亡と環境問題は表裏一体であり、世界共通の問題として捉えるべきであろう。特に、地球温暖化の影響の大きさを考慮すれば深刻に受け止めるべきである。一人一人の行動が改善の道を切り拓くことを自分自身を含めて肝に銘じて生活したいものであると考えている。

幹事報告

1. 連絡事項

- ①6月4日のクラブ協議会（2009～10活動計画）の原稿を、5月21日（木）までに、事務局にご提出ください。

理事会報告

1. 協議事項

- ①6月プログラム 井上武雄クラブ管理運営委員長
プログラム担当 久松 但君

・クラブ管理運営委員会の原案通りとする。

- ②さよなら例会について

井上武雄クラブ管理運営委員長

- ・開催日時等 6月25日（木） ブケ東海
18:30 例会 19:00 懇親会

【予 算】

収入：会費（会員26名）× 5,000円＝130,000円
会費（夫人 4名）× 2,000円＝ 8,000円
食事代より 26名 × 2,000円＝ 52,000円
クラブ管理運営委員会より =110,000円
合計 300,000円
支出：飲食代 30名×6,000円＝180,000円
コンパニオン・バンド 110,000円
合計 300,000円

以上①～⑥を一括承認



沼津西ロータリークラブ週報



2008～2009年度
第 18巻 42号
2009年5月21日

夢をかたちに

● クラブテーマ ●
目指そう、増強と四つのテスト

■■ 本日のプログラム ■■
イニシエーションスピーチ 成田みちよ君

例会場：ブケ東海 (18:30点鐘) 例会日：毎週木曜日 第三木曜日：18:30
事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 853 例会 会長挨拶◆◆

鈴木泰次 会長

裁判員制度が今日スタートしました。制度の内容等について触れてみたいと思います。

日本の裁判員制度は、米国・英国等で行なわれている陪審制とフランス・ドイツ・イタリア等で行なわれている参審制の両方を取り入れた制度です。原則として裁判官3人裁判員6人の評議により、有罪・無罪の別、量刑を決める制度です。

今年の裁判員は、昨年末に最高裁から通知が送られた29万5,027人の裁判員候補者から選ばれます。各地裁・支部は起訴された対象事件について、公判前整理手続きで審理日程を決めた後に候補者名簿から抽選し、公判が3日以内に終わる事件では50人程度を呼び出します。呼び出し状は選任手続きの6週間前までに発送され、最も早い人には6月上旬に届く見通しです。届いた人は同封の質問表で辞退を申し立てることができ、認められれば裁判所に出向く必要はありません。

公判は、検察官が起訴状を読み上げ、被告と弁護人が意見を述べる「冒頭手続き」で始まり、双方が主張を展開する冒頭陳述を行い、公判前整理手続きで選択された証拠の取調べが行なわれます。証人や被告には裁判員も質問が可能です。

裁判員と裁判官は公判の進み具合に合わせ、評議室で疑問点や感想などを意見交換します。刑事裁判では、被告の有罪を立証するのは検察官の責任とされ、裁判員は検察官の主張と証拠を検討し、社会常識などに照らして罪を犯したことに疑問がある時は、無罪と判断しなければなりません。いわゆる「無罪推定の原則」です。結論は、法廷に出された証拠だけを材料にして導き出します。

被告が起訴状に書かれた犯罪を行なったかどうか判断し、有罪と認められれば「懲役何年、執行猶予何年」「死刑」といった刑を決めることになります。

裁判員として参加することは法律上の義務ですが、辞退が認められるケースが法律や政令で定められています。70歳以上や学生、過去5年以内に裁判員や検察審査員を務めた人、会期中の地方議会の議員などは希望すれば辞退できます。親族らの介護・養育の必要があったり、妊娠中や出産から8週間たっていない人も辞退が可能です。

その他にも、個別の事情で候補者から辞退希望が出る際の判断材料として、事例集をまとめています。

一方、思想信条を理由に辞退はできず「制度に反対だ」「人を裁きたくない」というだけでは辞退は認められません。ただし、政令には「精神上的な重大な不利益が生じる」場合に辞退が認められる規定があり「宗教上の理由で死刑を言い渡せない」などの理由を挙げた場合は担当裁判官が対象者ごとに判断することになっています。

いずれにしても、多くの日本人の考え、行動様式から推すと、私はなかなか難しいような気がします。

5月のプログラム

854回	12:30	ブケ東海	外部卓話
5月28日(木)		オリジン・コーポレーション代表	杉井保之様

6月のプログラム

855回	12:30	ブケ東海	
6月04日(木)		クラブ協議会	次年度活動計画
856回	12:30	ブケ東海	新旧理事会
6月11日(木)		勝亦ガバナー補佐	期末訪問
857回	18:30	ブケ東海	夜間例会
6月18日(木)		会員卓話	1年を振り返って会長・幹事

会 長	鈴木泰次	幹 事	久松 但
会報委員長	名古屋良輔	編 集 者	芹澤和子

出席委員会報告

●ビジター

1. 山本 章様：せせらぎ三島RC

★出席報告（会員総数26名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
853回	26名	18名	-	69.23%
851回	26名	22名	-	84.62%

●欠席者（8名）

後藤 昭、宮口雅仁、本村文一、名古屋輔、西島邦彦、杉山 了、鈴木良則、土佐通孝

●スマイル報告

1. 重光 純：結婚記念日のお祝いありがとうございます。

イニシエーションスピーチ



成田 みちよ君
「私の自己紹介」

初めまして。今度、入会させて戴きました成田みちよと申します。どうぞ、宜しくお願い致します。

私は昭和47年8月12日、夏の暑い盛りの日成田家の長女として生まれました。家族構成は父、母、小学生の息子が一人、愛犬一頭です。血液型は「AB型」趣味は読書、映画鑑賞、海釣り（舟釣り派）です。

自身の性格的長所は明るく優しく、お人好しの処でしょうか。短所は石橋を叩きすぎる程の慎重派な処です。喜怒哀楽は顔に出ませんがはっきりしています。時々仕事中にもらい泣きをする事も有ります。葬儀業は「葬儀屋」です。

この仕事は365日、24時間体制で何時御依頼が有っても瞬時に対応出来る状態でなくてはなりません。ですから、家族には過分にさびしい思いをさせてしまっている処が在るかと思うと時々切なくなります。実際家族の支えが在るからこそ此処までこれたのだと思います。

現在、病死の他に孤独死・自殺・事故等亡くなり方も様々なので、その場に合わせた臨機応変な対処

・対応も必要とされる仕事ですが、残された御家族同様に故人様も一人の御家族と捉え、丁重にお迎えさせて戴く事が一番気を使う所です。そしてご家族様と一緒にご葬儀のお手伝いをさせて頂く事が大きな生きがいであり、一番の誇りだと日々思い仕事に従事させて頂いております。

この数年、景気の悪化で生活保護を受給される方が市内でも年々増加傾向に有り、ご葬儀を出したくても出せない方々も居る現実を目の当りにしてきました。この様な状況を十分考慮し、誰でも平等に価格に捉われる事が無く、ご家族が数日間安心してご葬儀を迎えられる様に本年3月に「家族葬専門ホール天華会館」を縁有って竣工致し現在に至ります。

名も無い葬儀社では在りますが「人様のお役に立ちたい」という奉仕の精神は同業他社には負けず劣りません。生意気な事を申しましたが、皆様を通じて自己啓発に励み、人様のお役に立てる自身であり会社で在りたいと存じます。

今後共御指導の程、宜しくお願い申し上げます。

幹事報告

1. 連絡事項

1. 他クラブの例会変更等

①長泉ロータリークラブ

5月20日（水）夜間例会

於：カフェ・グリーン 18:30～

②沼津柿田川ロータリークラブ

6月22日（月）→21日（日）に変更

最終家族例会（詳細未定）

6月29日（月）裁量休会

2. 連絡事項

①三島西ロータリークラブ

本年度計画のひとつでありました三島西RCのホームページを立ち上げる事が出来ました。三島西クラブの歴史、メンバー紹介、事業内容、毎週の週報もPDFで掲載しております。是非、皆様にご覧になっていただきたく、お願いいたします。

②国際ロータリー日本事務局経理室より

6月のロータリーレートは、1\$=98円です。



沼津西ロータリークラブ週報



2008～2009年度
第 18巻 43号
2009年5月28日

夢をかたちに

● クラブテーマ ● 目指そう、増強と四つのテスト

■■ 本日のプログラム ■■
外部卓話 リジソ・コーポレーション代表 杉井保之様

例会場：ブケ東海 (18:30点鐘) 例会日：毎週木曜日
第三木曜日：18:30
事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 854 例会 会長挨拶◆◆

鈴木泰次 会長

以前にも、人間の遺伝子のことについて話をしたことがあります。今回は「私たちに「性」が有ることが「死」を意味する」という少しショッキングな事実についてお話したいと思います。

人間のDNAは「線状」で、細胞分裂でコピーされるたびに両端が短くなるため、分裂の回数に限界が存在します。

人間の場合、約50回分裂すると寿命を迎えます。では、大腸菌のようなバクテリアが無限に分裂できるのはなぜでしょうか。バクテリアなど原核細胞(DNAを包む膜がない細胞)のDNAが、輪のような「環状」をしているからです。環状であれば端がなく、分裂しても短くなりません。DNAが環状から線状になったことが、私たち人間に寿命をもたらした理由といえるようです。

さて、私たちのからだの細胞(体細胞)は、卵子と精子が合体した受精卵が発点です。卵子や精子が持つDNAは、それぞれ1セットです。受精卵からできた体細胞は、父と母からDNAを1セットずつ受け継いで、2セットのDNAを持ちます。

一方、大人になって生殖細胞を作る際、2セットのDNAが1セットに戻されます。この仕組みを「減数分裂」と呼び、オスとメスがかわる「有性生殖」の基本となっています。

ところが減数分裂ではDNAの形が環状だと都合が悪いようです。有性生殖する生物は子孫を残すため減数分裂に都合のよい線状のDNAを持つことにより、細胞に寿命があることが運命づけられているのです。

ここで重要なのは、生殖細胞には、コピーによって短くなったDNAの端をもとの長さに戻す能力があることです。体細胞から作られたクローン動物は、生まれながら短くなったDNAを持っていますが、生殖細胞の受精卵から生まれる赤ちゃんは、0歳の細胞を持って生まれてきます。

真核生物の宿命である「老」や「死」が、「性」によって克服され、再び0歳からの時を刻むのです。つまり、自分自身の死の代わりに、自分の遺伝子を持つ子孫を残すことが出来るのです。

有性生殖のもう一つの利点は、減数分裂や受精の過程を通じて、一つとして同じではない多様な子孫を残せることです。性を持つことで、私たちは世界で唯一のかけがえのない存在となり、同時に死を運命づけられているのです。

以上の話は、東京大学付属病院中川恵一准教授のお話ですが、生物がいかにかうまく進化しながら、生きながらえてこられたのが良く分かりますが、これから先、人間が人間らしく進化しながら生き続けることが出来るのか、今の人間社会を見ていると私は心配になります。

6月のプログラム

855回	12:30	ブケ東海	クラブ協議会
6月04日(木)			次年度活動計画
856回	12:30	ブケ東海	新旧理事会
6月11日(木)			勝亦ガバナー補佐期末訪問
857回	18:30	ブケ東海	夜間例会
6月18日(木)			1年を振り返って 会長・幹事
858回	18:30	ブケ東海	時間変更
6月25日(木)			さよなら例会 クラブ管理運営委員会

会 長	鈴木泰次	幹 事	久松 但
会報委員長	名古良輔	編 集 者	芹澤和子

出席委員会報告

●ゲスト

1. オリジン・コーポレーション代表 杉井保之様

●ビジター

1. 内田文喬様：沼津北RC

●出席報告（会員数 26名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
854回	26名	21名	-	80.77%
852回	26名	22名	0名	84.62%

●欠席者(5名)

後藤 昭、成田みちよ、尾島康夫、佐野 稔、土佐通孝

●他クラブへの出席者

杉山 了 (5/25 沼津柿田川RC)

土佐通孝 (5/25 沼津柿田川RC、5/27 富士RC)

●スマイル報告

1. 名古屋輔：杉井保之さま、卓話、宜しく申し上げます。
2. 大村保二：誕生日のお祝いありがとうございます。
3. 鈴木良則：インフルエンザの猛威！宝塚在住の娘の家族は無事でした。
4. 本村文一：所用につき、早退させていただきます。
5. 大村保二：すみません。所用につき、早退させていただきます。

外部卓話



オリジン・コーポレーション代表
杉井 保之様

私たち日本人は、戦後の焼け野原からすごいスピードで経済大国に登りつめ、とても豊かな国を作り上げました。しかし、そうした経済的な発展とは逆に、自殺者や引きこもりの人が増え、人生に苦しんでいる人が増えているようです。

果たして、幸せな人生とはどんなものなのでしょう？最近の若者に、彼らが求めている「幸せ」とはどんなものかを尋ねると、いつも楽しくて、ワクワクした状態をいう人がたくさんいます。確かにそうした状態が続けばそれに越したことはありませんが、人生を生きていく以上、いつもワクワクして楽しい状

態ばかりではありません。希望の大学に入ろうと思えば、不安な気持ちの湧く中、苦手な勉強にも向かわなければなりませんし、良い業績を上げたいと思えば、ストレスのある仕事にも挑まなければならないかもしれません。そうしたことを嫌っていて良い人生を作ることは出来ないと思うのです。

今日の教育では「やる気を出して」「勇気を持って」「自信を持って」など気分を基盤においた教育が行われています。しかし、気分を思い通りにコントロールすることが出来るのでしょうか？気分本位に生きていては、本一冊書き上げることは出来ないと思います。

私は二十年間、色々な方の相談に乗ってきましたが、悩んでいる人の多くは、こうした気分本位な生き方や、自己中心的なものの見方をしている人がほとんどです。

今回は、アメリカの文化人類学者であるD. K. レイノルズ博士が提唱した教育方法のコンストラクティブ・リビング（建設的な生き方）を紹介しながら、私たちはどうしたら幸せに生きやすいのか、ということと一緒に考えていきたいと思っています。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①新富士ロータリークラブ

6月2日（火） シャンソンのタベ 夜間例会
於：ホテルグランド富士 19:00より

2. 連絡事項

- ①さよなら例会の青表紙を各テーブルに置きますので、ご記入をお願いします。

編集後記

編集の役割も最後です。何もしないで、何もできないと、感じるより、出来るか？出来ないか？挑戦して自分で決めたいと思いましたが、やはり人間、向き、不向きがある事に気付きました。

本当に良い勉強をして、委員会の皆様の暖かさに触れました。もう少し経験したら編集も楽しいと思います。

本当にありがとうございました。

(文責 芹澤 和子)